

長野保健医療大学紀要の発刊

長野保健医療大学
学長 岩谷 力

長野保健医療大学が設置され1年、長野保健医療大学紀要が発刊されることとなった。大きな喜びである。発刊に尽力した教職員諸氏に大いなる感謝をささげるものである。

紀要は、大学の研究実績を公にする重要な媒体である。

日々の仕事、生活から生まれる疑問、疑いもなく依拠してきた原理・原則、行動指針、など他者との意見の違いなどが、われわれを研究へと駆り立てる。医科学の進歩、社会情勢の変化は日進月歩である。我々は、大学人として、新たな科学的知見の洪水に曝されている。知見の洪水のなかから、実践に役立つもの、これまでの常識をくつがえすものを拾い出し、われわれの進歩に結びつける努力を不断に行わなければならない。

学問は知の蓄積により進化する。知を求めるのは、人間の本性である。個人の知は、集団において議論され、実証され、共有されて、文化として形成されていく。

大学の知を結集し、文化的風土を固め、これからの社会に、文化に貢献していく重要な媒体として紀要を育てて行きたい。

初刊は、教員の業績を掲載するものであるが、出来る限り近い将来に、卒業生の研究成果が紀要を埋めるようになることを目指し、努力したいものである。そして、いつの日か、専門学術誌として、学術の発展に貢献する紀要となることを期待するものである。